

地域文化の担い手である子どもたちが主体的にかかわる文化活動

新見市文化連盟

活動の目的

新見市内の小・中学生たちが日ごろ熱心に取り組んでいる絵画、書、芸能を披露することで一層の技術向上と文化活動の継承を図り、文化・芸術の創造に資する。また水墨画手本展では興味を喚起する。新見公立大学・短期大学生らによる抹茶接待で人と人との交流を深めつつ思いやりと活力に満ちた人間形成に努める。

活動の内容及び経過

「にいみっ子 美術・芸能育成で文化向上」と銘打ち、小・中学生たちの絵画、書などを大ホールに展示し、芸能を舞台で発表。平成29年6月11日（日）まなび広場にいみ。

「美術展」は幼稚園から小・中学生の絵画、書などの作品173点と、郷土が生んだ水墨画家（四条派）の瀧崎華峰（峰夫）先生の手本107点（秘蔵品）を展示。併せて、新見公立大学・短期大学生ら15人による抹茶で接待。記念式典は「芸能祭」の前に、各協会の功労者等8人を表彰。「芸能祭」は牧水太鼓13人、どじょう掬い8人、こども神楽6人、日本舞踊飛鳥流・花柳流5人、千屋牛追唄18人、新見児童合唱団32人、創作舞踊茜流8人、計90人が、自信を持って大舞台で堂々と演技し、大好評を博した。出品者・出演者は、新見市文化連盟の5文化協会（新見、大佐、神郷、哲西町、哲多町）から選抜された児童・生徒および協会員。総数は313人。

活動の成果・効果

福武教育文化振興財団の助成、及びおかやま県民文化祭「文化パワーアップアクション」事業の承認を得たことで信用度と信頼がアップした。出品者、出演者や指導者が安心して稽古に一層熱が入り、自信も増した。市民全般が安心して観覧できた。入場者数も延べ1000人を上回った。芸能祭では子供たちが舞台に登場するたびに「可愛い」「心が和む」など観客に大好評だった。併せて、美術展と郷土画家の手本展では美術に対する興味・関心が深まった。また新見公立大学・短期大学生による抹茶接待で人間交流が増大した。こうした取り組みは将来に向け更なる好循環が期待できると思う。

今後の課題と問題点

芸能祭に関しては、昨年末ごろから公民館などで別々に稽古を頑張ったが、大舞台での合同リハーサルができればより充実したと思う。さらに大勢の人と交流を深め、一層自信と勇気と強い気持ちをもって披露できるように努めたい。なお、新見市内の公民館行事や婦人会運動会等と日程



が重なったので、入場者が伸び悩んだ。今後の検討課題としたい。

また、文化・芸術活動の担い手の高齢化や急速に進む人口減少、少子化など様々な課題や不安を抱えているが、子供たちの参加を得ることで地域の文化・芸術活動を継続・発展させられると思う。しかし、厳しい経済情勢の折、経費捻出等の理由で毎年の開催は困難である。一定の節目（5年目、10年目）に計画したい。

- 代表者：杉井幸正 ●所在地：新見市新見
- TEL：0867-72-4408
- 設立年：2005年 ●メンバー数：18名